

建設住宅性能評価申請書(既存住宅)

(第一面)

ハウスプラス住宅保証株式会社 殿

平成 年 月 日

申請者の氏名又は名称

代表者の氏名

印

住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項の規定に基づき、建設住宅性能評価を申請します。
この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

所有者の氏名又は名称

印

受付欄	料金欄
年 月 日	
第 号	
申請受理者印	

申請者等の概要

【1. 申請者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住所】

【電話番号】

【2. 代理者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住所】

【電話番号】

【3. 所有者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住所】

【電話番号】

【4. 共用部分の管理者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住所】

【電話番号】

【5. 建設住宅性能評価を希望する性能表示事項】

別紙による

【6. 備考】

【建設住宅性能評価を希望する性能表示事項】

1. 構造の安定に関すること

- 1 - 1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)
 - 1 - 2 耐震等級(構造躯体の損傷防止)
 - 1 - 3 その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)
 - 1 - 4 耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)
 - 1 - 5 耐積雪等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)
 - 1 - 6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法
 - 1 - 7 基礎の構造方法及び形式等
-

2. 火災時の安全に関すること

- 2 - 1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)
 - 2 - 4 脱出対策(火災時)
 - 2 - 5 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))
 - 2 - 6 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))
-

3. 劣化の低減に関すること

- 3 - 1 劣化対策等級(構造躯体等)
-

4. 維持管理・更新への配慮に関すること

- 4 - 1 維持管理対策等級(専用配管)
-

5. 温熱環境・エネルギー消費量に関すること

- 5 - 1 断熱等性能等級
 - 5 - 2 一次エネルギー消費量等級
-

6. 空気環境に関すること

- 6 - 2 換気対策
 - 6 - 3 室内空気中の化学物質の濃度等
 - 特定測定物質(必須) ホルムアルデヒド
 - 特定測定物質(選択) トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン
 - 6 - 4 石綿含有建材の有無
 - 6 - 5 室内空気中の石綿の粉じんの濃度等
-

7. 光・視環境に関すること

- 7 - 1 単純開口率
 - 7 - 2 方位別開口比
-

9. 高齢者等への配慮に関すること

- 9 - 1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)
-

10. 防犯に関すること

- 10 - 1 開口部の侵入防止対策
-

11. 現況検査により認められる劣化等の状況に関すること

- 11 - 2 特定現況検査により認められる劣化等の状況(腐朽等・蟻害)
木造の部分の有する住宅に限る
-

(注意)

現況検査以外で建設住宅性能評価を希望する性能表示事項を選択してください。

【地盤の液状化に関する情報提供】

地盤の液状化に関する情報提供を行う(情報提供の内容は申出書による)

地盤の液状化に関する情報提供を行わない

(注意)

情報提供について、いずれかにチェックしてください。

(第三面)

建築物に関する事項

【1.住居表示】

【郵便番号】

【住所】

【2.建て方】

一戸建ての住宅

共同住宅等

【3.住戸の数】

【建物全体】 1 戸

【評価対象住戸】 1 戸

【4.建物の階数】

地上()

地下()

【5.その他必要な事項】

【住宅の名称】

【6.備考】

住戸に関する事項(第四面関係)

< 番号 > 1

< 階 > -- 階

< 利用関係 > 所有者が居住している 所有者以外が居住している その他

< その他必要な事項 >

< 備考 >

(注意)

1. 各面共通関係

数字は算用数字を用いてください。

2. 第一面関係

印のある欄は記入しないでください。

3. 第二面関係

申請者からの委任を受けて申請を代理で行う者がいる場合においては、2欄に記入してください。

4欄は、申請に係る住宅が共同住宅等の場合に限り、記載してください。

5欄は、必須評価事項以外で建設住宅性能評価を希望する性能表示事項を記入してください。

4. 第三面関係

ここに書き表せない事項で、評価に当たり特に注意を要する事項は、5欄又は別紙に記載して添えてください。

5. 第四面関係

1欄は、住戸の数が1のときは「1」と記入し、住戸の数が2以上のときは、申請住戸ごとに通し番号を付し、その番号を記入してください。

ここに書き表せない事項で、評価に当たり特に注意を要する事項は、4欄又は別紙に記載して添えてください。

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4としてください。

2 第一面は、申請者(申請者が法人である場合にあっては、その代表者)の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

3 第二面から第四面までについては、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

4 共同住宅等に係る建設住宅性能評価の申請にあっては、第四面を申請に係る住戸ごとに作成した場合、この申請書を共同住宅等一棟又は複数の住戸につき一部とすることができます。